

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-231962(P2004-231962A)

【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-032

【出願番号】特願2004-19319(P2004-19319)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 G 18/22

//(C 0 8 G 18/22

C 0 8 G 101:00 )

【F I】

C 0 8 G 18/22

C 0 8 G 18/22

C 0 8 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年8月30日(2004.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

芳香族ポリイソシアネート、有機金属触媒、ポリオールおよび発泡剤からなる反応混合物の触媒反応によって生成される軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォームであって、この有機金属触媒が34%より少ない遊離酸を有するビスマスカルボキシレートまたはビスマスルホネートであることを特徴とする、上記ポリウレタンフォーム。

【請求項2】

有機金属触媒がビスマスカルボキシレートである、請求項1に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

【請求項3】

芳香族ポリイソシアネートがジフェニルメタンジイソシアネートおよびトルエンジイソシアネートからなる群から選択される、請求項2に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

【請求項4】

反応混合物中で使用されるビスマスカルボキシレートがポリオール100重量部あたり0.05~5重量部の量である、請求項1に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

【請求項5】

カルボキシレートがC<sub>5</sub>~C<sub>15</sub>の脂肪族カルボン酸から誘導される、請求項1に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

【請求項6】

カルボン酸が2-エチルヘキサン酸およびネオデカン酸からなる群から選択される、請求項5に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

【請求項7】

第3級アミン触媒が反応混合物中に含められている、請求項6に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

**【請求項 8】**

第3級アミン触媒に対するビスマスカルボキシレートの比が重量基準で1：10～10：1である、請求項7に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

**【請求項 9】**

第3級アミンがトリエチレンジアミン、ペنتアメチルジプロピレントリアミン、ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル、2-ジメチルアミノエチル尿素；N,N-ビス(2-ジメチルアミノエチル)尿素；N,N-ビス(2-ジメチルアミノエチル)尿素；3-ジメチル-アミノプロピル尿素；N,N-ビス(3-ジメチルアミノプロピル)尿素；1-(N-メチル-3-ピロリジノ)メチル尿素；1,3-ビス(N-メチル-3-ピロリジノ)-メチル尿素；3-ピペリジノプロピル尿素；N,N-ビス(3-ピペリジノプロピル)尿素；3-モルホリノ-プロピル尿素；N,N-ビス(3-モルホリノプロピル)尿素；2-ピペリジノエチル尿素；およびN,N-ビス(2-モルホリノエチル)尿素からなる群から選択される、請求項8に記載の軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォーム。

**【請求項 10】**

芳香族ポリイソシアネート、有機金属触媒、ポリオールおよび発泡剤からなる反応混合物の触媒反応によって、軟質、半硬質または硬質ポリウレタンフォームを製造する方法において、34%より少ない遊離酸を有するビスマスカルボキシレートまたはビスマススルホネートを有機金属触媒として使用することを特徴とする上記の方法。